



常設展「岡本太郎の食」

2021 年 4 月 15 日(木)～2021 年 7 月 4 日(日)



「実験茶会」にて料理をする岡本 1955 年

「生きものが生きものを食べるのは、まさに生命の交歓である。」

人間の三大欲求の一つである「食」。岡本太郎にとっての「食」は、自身の中の原始的な感動をよびさますものであり、生活と芸術は一体であるという岡本の理念を実現させる糸口の一つでもありました。岡本がデザインしたインダストリアル作品の中にはティーポットやグラスなどの食器、ワインクーラー付きのテーブルなど「食」の場を意識したものが数多く残されています。また、ダイナミックな書が躍る大皿や顔のある茶器などの一風変わった陶芸作品も手掛けました。

本展では岡本太郎にまつわる「食」をテーマに、メキシコのホテルの食堂のために依頼された壁画《豊饒の神話》の原画を中心に、油彩、陶器、インダストリアルなどの作品を展示します。人生、芸術、そして食べることもまた闘いだと考えていた岡本の作品を「食」という視点から読みとく試みです。

開催概要

会 場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室

会 期：2021 年 4 月 15 日（木）～7 月 4 日（日）

主 催：川崎市岡本太郎美術館

開館時間：9:30～17:00（入館は 16:30 まで）

休 館 日：月曜日（5 月 3 日を除く）、5 月 6 日（木）、7 日（金）

観 覧 料：常設展のみ開催 一般 500（400）円、高・大学生・65 歳以上 300（240）円

2 月 20 日（土）～4 月 11 日（日）

一般 700（560）円、高・大学生・65 歳以上 500（400）円

4 月 24 日（土）～7 月 4 日（日） 企画展とのセット料金

一般 900（700）円、高・大学生・65 歳以上 700（560）円、中学生以下は無料

※企画展開催中は、企画展とのセット料金に変わります。

※中学生以下は無料

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※開催期間等、変更になる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてお知らせいたします。

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：篠原 広報担当：森近（pr@taromuseum.jp）

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柵形 7-1-5 生田緑地内

TEL：044-900-9898 / FAX：044-900-9966

PRESS RELEASE



川崎市岡本太郎美術館

みどころ

- 岡本太郎にまつわる「食」をテーマに、壁画の原画、油彩、陶器、インダストリアルデザインなど、幅広いジャンルにわたり紹介。
- 岡本太郎が開催した食の集い「実験茶会」や、岡本が愛した料理など写真や資料で紹介。
- 企画展・常設展ともに写真撮影可能！（フラッシュ、三脚の使用は不可）



《味》陶磁 1988 年



《耳助》陶磁 1981 年

主な出品作品

油彩

彫刻

陶磁

インダストリアル

その他

《豊饒の神話》《歓喜》《二人》《まひるの顔》《クリマ》など

《喜び》《祭り》《犬の植木鉢》《動物》など

《味》《山川》《夢》《花》《耳助》《無邪気》《しっぽ》など

《顔のグラス》《夢の鳥》《人間ボトル》《坐ることを拒否する椅子》など

「実験茶会」写真パネル、版画、岡本太郎が撮影したメキシコの写真など



《歓喜》油彩・キャンバス 1963 年



《山川(冬)》陶磁 1989 年



《夢の鳥》陶磁 1977 年

関連イベント

ワンポイントトーク

当館学芸員が常設展の展示解説を行います。

日程：4 月 24 日（土）時間：14:00～

※イベントの詳細につきましては、当館ホームページでお知らせいたします。

川崎市岡本太郎美術館ホームページ <http://www.taromuseum.jp>